

2017年3月期 決算説明会

2017年5月17日

TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社

代表取締役社長

谷上 俊二

決算概況(連結)

(単位：百万円)	2016年度 通期	利益率	増減率	2015年度 通期	利益率
売上高	22,991	-	9.8%	20,941	-
売上総利益	4,411	19.2%	14.9%	3,840	18.3%
営業利益	1,645	7.2%	24.5%	1,321	6.3%
経常利益	1,690	7.4%	29.5%	1,305	6.2%
当期純利益	1,165	5.1%	48.8%	783	3.7%

【売上高】

- 各事業分野の成長戦略が順調に推移

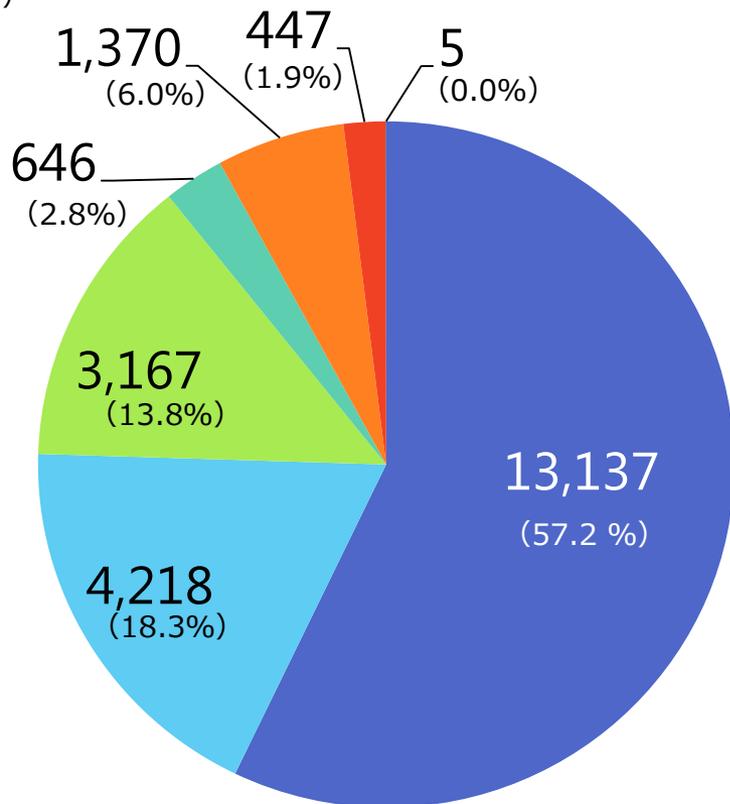
【利益】

- 売上高の拡大による利益額の増加
- プロジェクト管理の徹底による収益性の向上

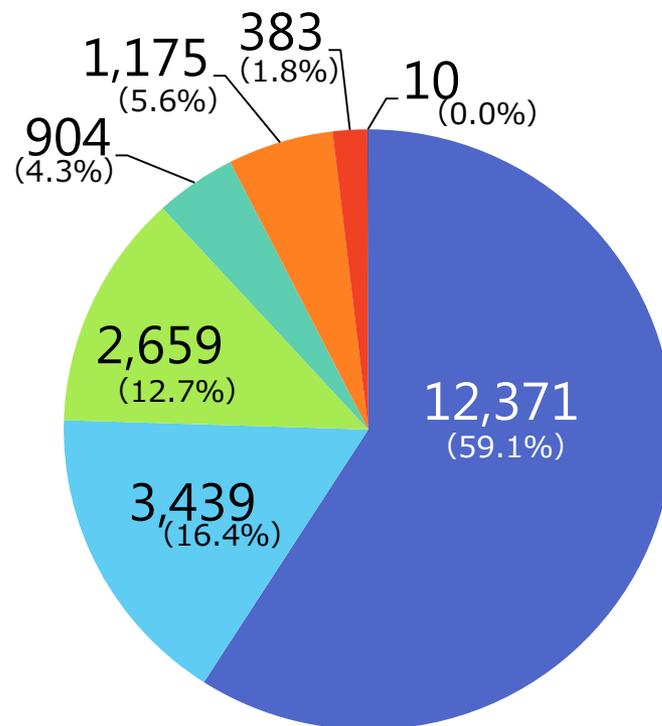
事業別売上高概況

2016年度通期売上高実績
22,991百万円

(百万円)



2015年度通期売上高実績
20,941百万円



■ アプリ開発 (金融) ■ アプリ開発 (法人) ■ ITインフラ構築 ■ ネットワーク ■ ソリューション (他社製品) ■ ソリューション (自社製品) ■ その他

● アプリケーション開発事業

◆ 金融アプリケーション開発事業

クレジット業や銀行業向けの大型システム開発案件が堅調に推移

◆ 法人アプリケーション開発事業

エネルギー業や流通業向けの開発案件が堅調に推移

● インフラ・ネットワーク事業

◆ 官庁向けITインフラ構築案件等に注力

● ソリューション事業

◆ 当社製品『Trustpro』ビジネスや、BIに関連する案件に注力

◆ ストレスチェック支援ソリューション『M-Check+』やタレントマネジメント『HuTaCT』の拡販施策を展開



● 事業拡大に必要な人材の確保・育成

◆ プロジェクトマネジメント力の強化

社員のPMP資格取得、CMMIを用いた組織プロセスの改善に注力。PMP資格の取得者数は2016年11月に500名を達成。CMMIについては、2016年12月にエンタープライズビジネスユニットにてレベル3を達成。

◆ 積極的な採用施策

新卒、経験者ともに事業拡大に必要な人材の確保を図る。

● 知財の獲得、新ビジネスの創出

当社製品であるTrustproをベースに健康経営をテーマとした新規商材の開発。タレントマネジメントシステムや購買管理システムの機能強化を実施。
インキュベーション推進室にてオープンイノベーションの取り組みを推進。

MCheck+^{PLUS} ストレスチェック支援ソリューション

他社と当社のノウハウをマッチングし相互にビジネスを推進するレベニューシェアモデルのビジネスを推進。当社のクラウドサービスTrustproの技術とメンタルヘルス専門機関の業務ノウハウを合わせ、ソリューションビジネスを推進。

➡**発売 1 年強で、8万6千ユーザーの獲得を達成**

●**今後のビジネス展開**

タレントマネジメントシステム“HuTaCT”を用いた健診結果のWEB管理機能、分析ツール“Qlik Sense”を用いた健康関連データの分析テンプレートを組み合わせ、**健康経営をテーマとした支援ソリューション**の拡大を目指す。

BP-LINKS IT企業向け購買管理システム

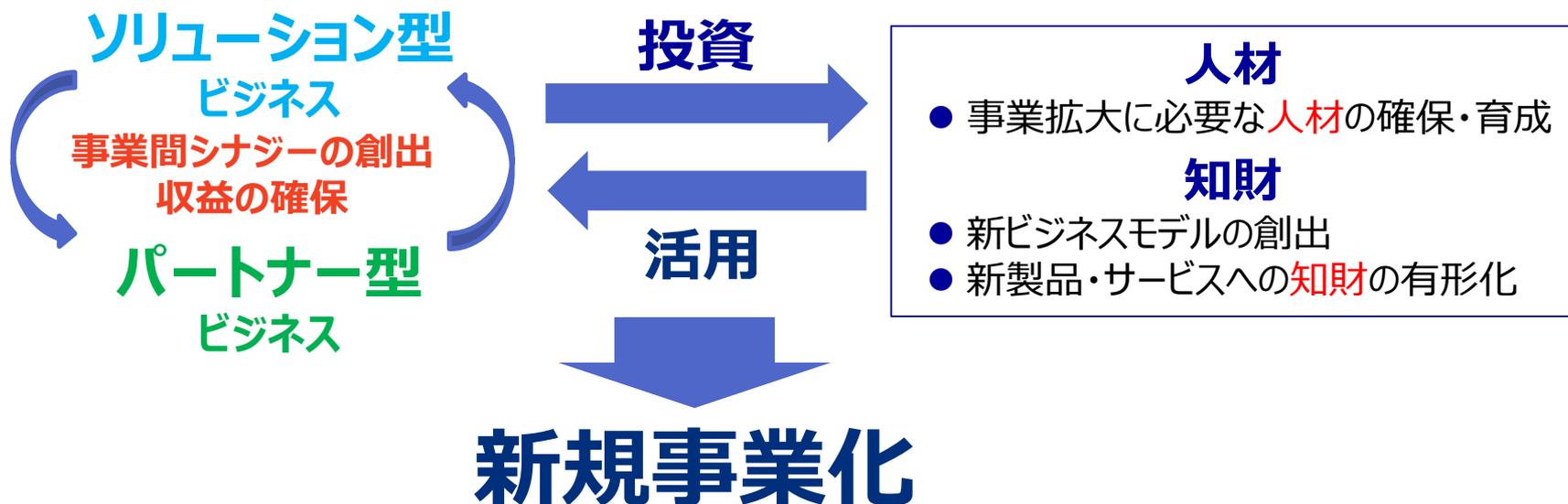
パートナー同士がつながり、出会うコミュニティ機能を開発。スキルシート管理機能まで無償提供を行い、加えてEDI機能をはじめとした追加機能を有償提供するビジネスモデルを検証中。

➡**2017年度上期中にサービス提供開始見込み**

『中期経営計画に基づき5年後を見据えた経営を加速する』

- 1) 現行ビジネスで顧客、事業領域の拡大を図り、収益を向上
- 2) 将来に向けた新ビジネスモデル、新サービス、新製品の創出に投資
- 3) 市場動向の変化等に対し、機敏に対応する柔軟な経営を行う

中期経営計画方針 『攻めの5年間』収益確保と財産（人材、知財）づくり



『次世代型 S I 事業に向けた投資を加速』

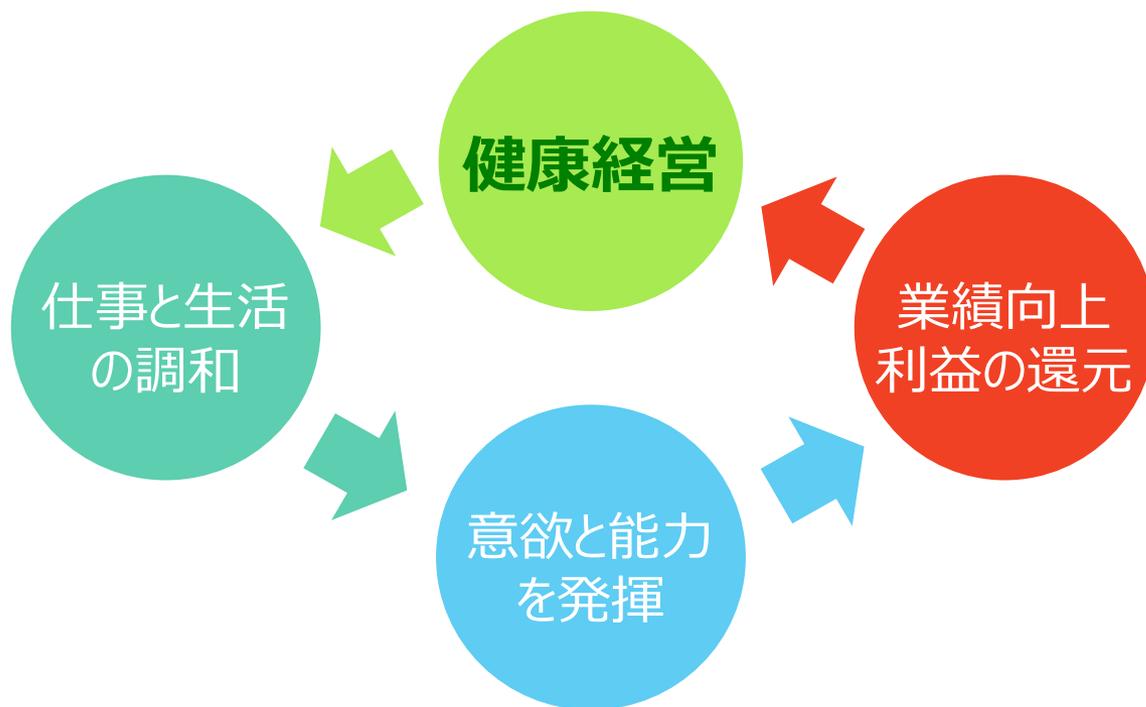
～ 5 年後の S I 事業を見据えた進化～

次世代型 S I 事業とは

最新の要素技術等を活用し、顧客の競争優位を支えるサービスのスピード感のある対応、ユーザコストの低減を両立したインテグレーションサービス

- **生産性、柔軟性、利便性を追求した開発手法や要素技術**
アジャイル開発、マイクロサービス、APIエコノミーなど
- **技術のサービス化**
クラウドサービス、セキュリティサービスなど

健康経営に向けた様々な取り組みにより、社員がより能力を発揮できる環境を整備していき、中長期的な収益性の向上を目指す。



『銀の認定証』の取得

健康経営に向けた取り組みの一環として、健康企業宣言東京推進協議会が実施しております「健康優良企業認定制度」において、「銀の認定」を取得いたしました。

業績見通し(連結)

(百万円)	2017年度		2016年度	
		増減額	増減率	
売上高	23,800	+809	+ 3.5%	22,991
営業利益	1,790	+145	+ 8.8%	1,645
経常利益	1,800	+110	+ 6.5%	1,690
当期純利益	1,140	△25	△2.1%	1,165
EPS	94.64円			96.75円

2017年3月期 決算内容

取締役常務執行役員

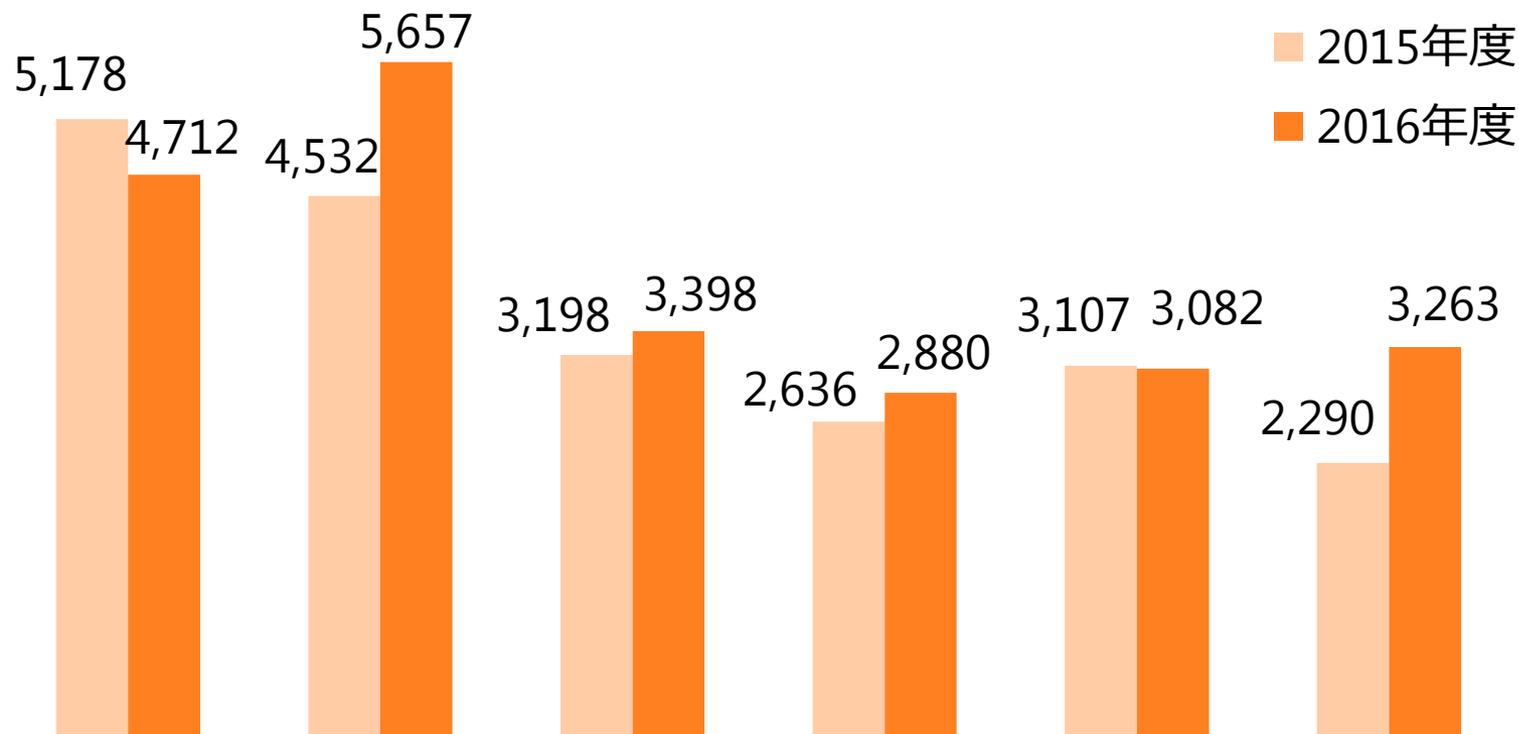
岩田 伸

損益計算書

(単位：百万円)	2016年度 (連結)	2015年度 (連結)	増減率
売上高	22,991	20,941	+9.8%
労務費	8,875	8,476	+4.7%
外注費	8,868	7,837	+13.2%
その他経費	751	755	△0.5%
仕掛増減高	84	31	+171.0%
売上原価	18,579	17,101	+8.6%
売上総利益	4,411	3,840	+14.9%
販売費及び一般管理費	2,766	2,518	+9.8%
営業利益	1,645	1,321	+24.5%
営業外収支	44	-15	-
経常利益	1,690	1,305	+29.5%
特別損益	-	-	-
税引前当期利益	1,690	1,305	+29.5%
当期純利益	1,165	783	+48.8%
EPS	96.75	65.03	+48.8%

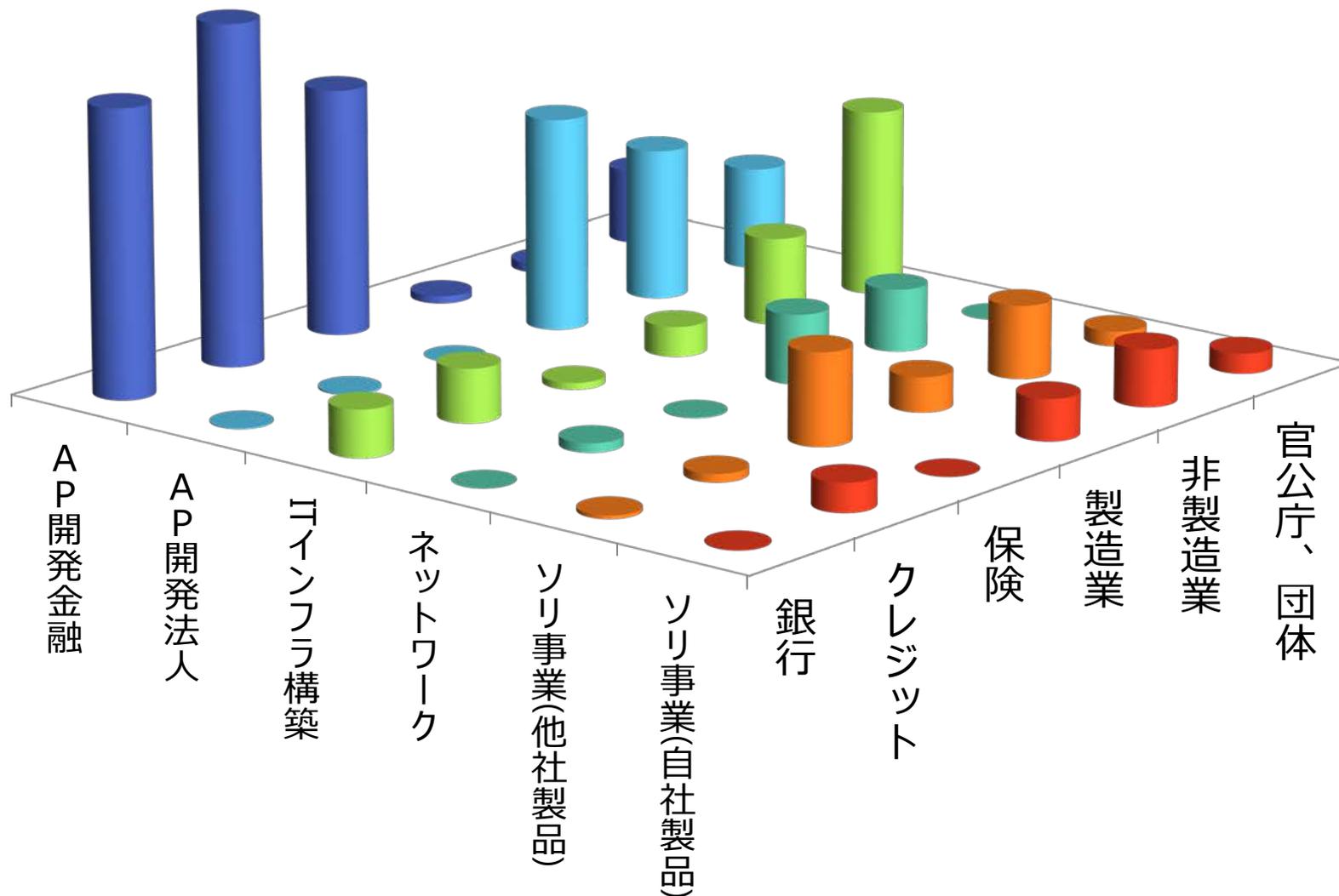
顧客業種別売上高概況

(百万円)



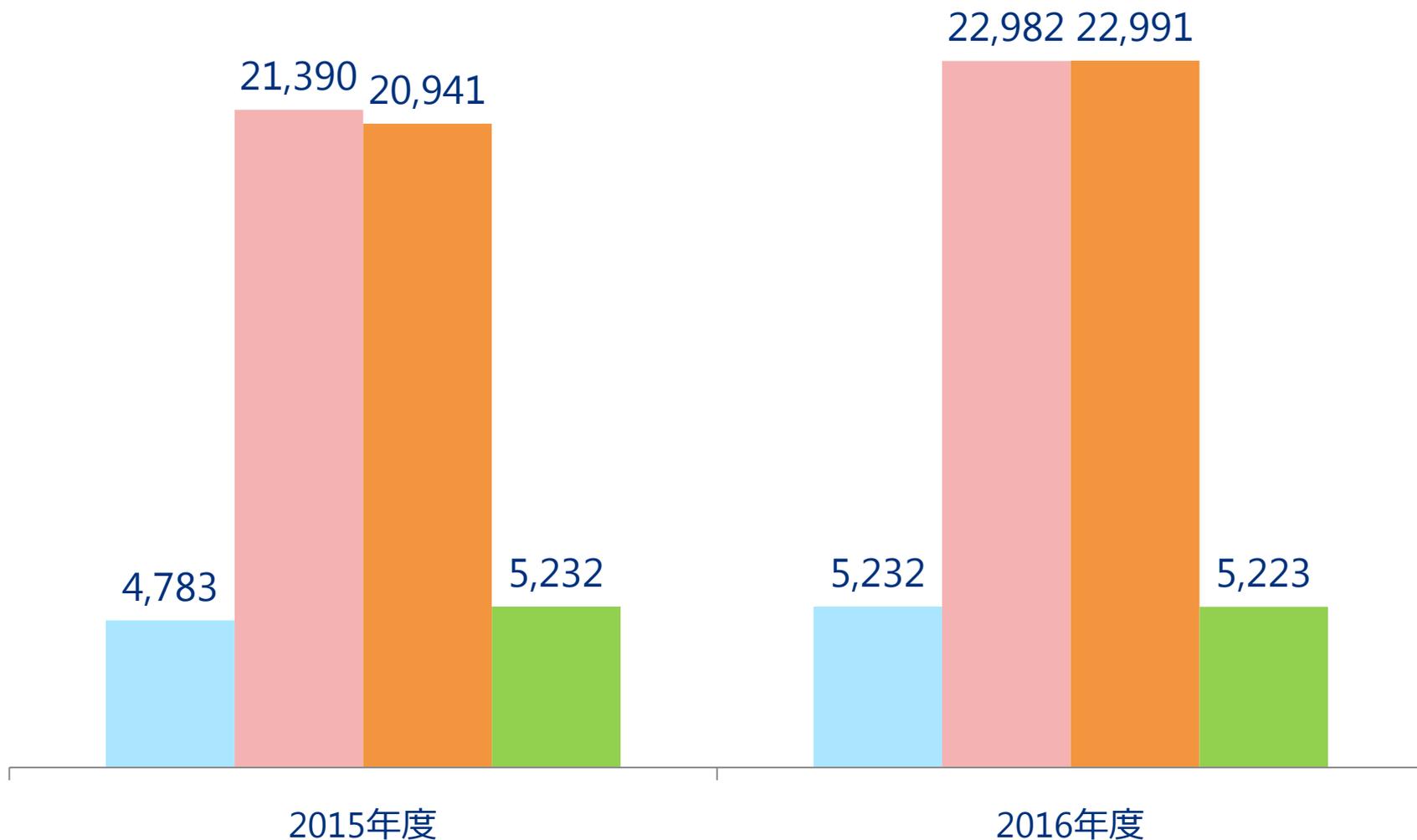
	銀行	クレジット	保険	製造業	非製造業 (通信、流通業等)	官公庁、団体
2016年度 構成比	20.5%	24.6%	14.8%	12.5%	13.4%	14.2%
前期比	-9.0%	+24.8%	+6.3%	+9.3%	-0.8%	+42.5%

事業別売上高概況（顧客業種別）

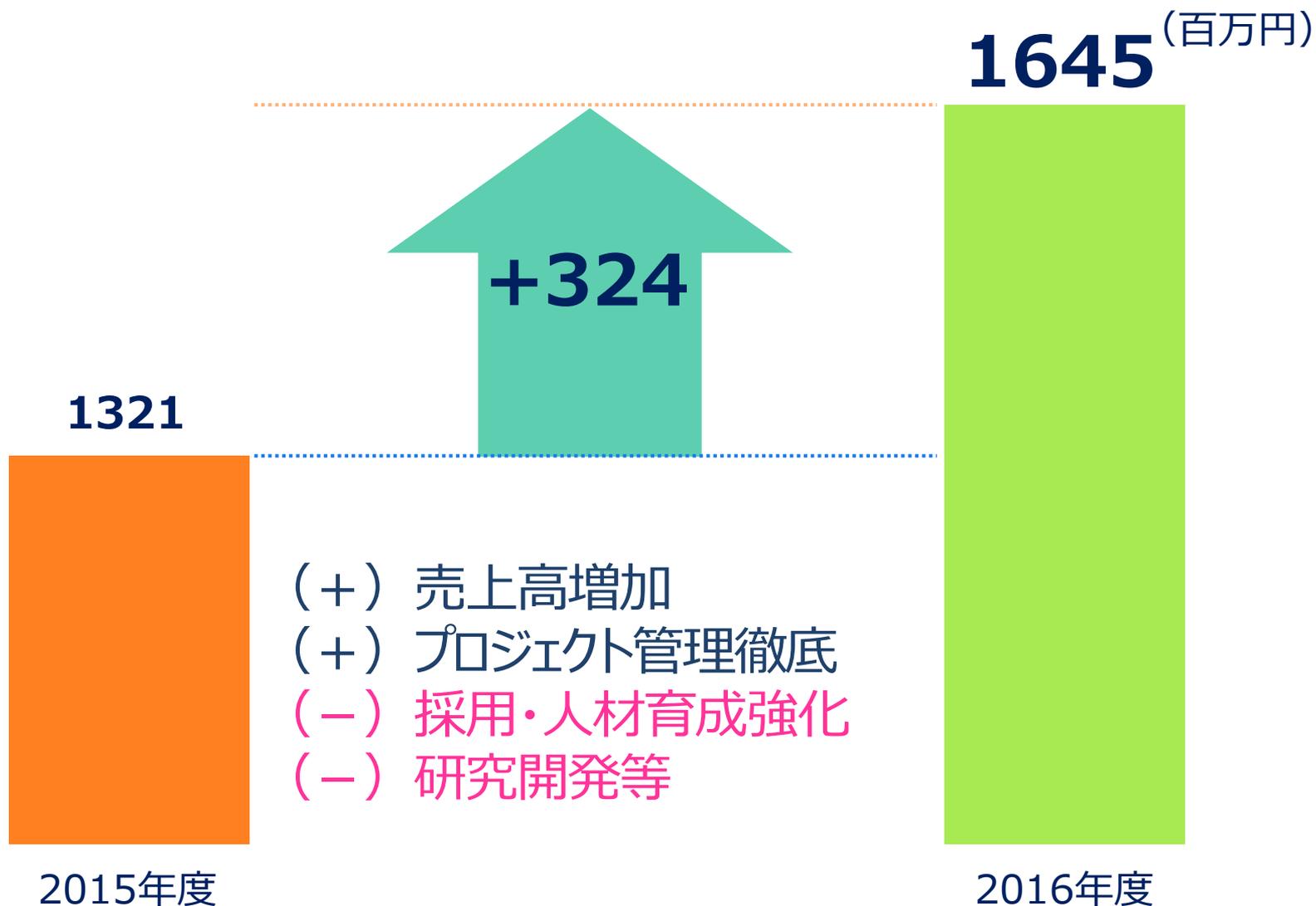


受注高・受注残高の状況

■ 期初受注残高 ■ 受注高 ■ 売上高 ■ 受注残高 (百万円)



営業利益分析（前年同期比）



貸借対照表 (主な科目)

(百万円)	2016年度	2015年度	増減率
	(連結)	(連結)	
資産合計	13,615	11,902	+14.4%
流動資産	10,991	9,933	+10.7%
現金及び預金	5,557	5,281	+5.2%
売掛金	4,572	3,796	+20.4%
仕掛品	148	232	△36.2%
その他	712	622	+14.5%
固定資産	2,624	1,968	+33.3%
有形固定資産	178	149	+19.5%
無形固定資産	309	145	+113.1%
投資その他	2,135	1,674	+27.5%
負債合計	4,489	3,929	+14.3%
流動負債	4,242	3,716	+14.2%
買掛金	914	832	+9.9%
短期借入金	401	412	△2.7%
未払法人税等	428	298	+43.6%
未払費用	1,837	1,627	+12.9%
固定負債	247	212	+16.5%
純資産合計	9,126	7,972	+14.5%
負債純資産合計	13,615	11,902	+14.4%
自己資本比率	67.0%	67.0%	-
1株当たり純資産	757.68	661.87	+14.5%

T D Cソフトウェアエンジニアリング株式会社

<http://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意：

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。